

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	012200	TEL	2998-9172		
事業コード	生活道路整備事業	道路建設課						
120202		グループ 生活道路担グループ						
開始年度	平成8 年度	→	終了年度	年度				
②事業の概要	事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針							
	関連・類似事業	道路改良事業、道路舗装事業						
	総合計画の体系	章 街づくり	節 道路	基本方針	生活道路の整備を進めます			
事業開始の背景	市内には幅員が4.2メートルに満たない道路やすみ切りの無い道路が多数存在することから、防災活動や交通、日照や通風など住みやすい環境をつくるうえで大きな障害となっている。そこで、このような状況を解消するため、平成8年度より要綱に基づく「生活道路拡幅整備事業」を開始した。							
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	防災活動や交通、日照や通風などの生活環境の向上を図る。また、緊急対策として危険箇所にもスポット的な待避所等の整備を行う。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	128	件		
	道路後退による寄付用地			平成 27 年度	187	件		
事業の具体的な内容及び実施方法	市道に接する敷地で建築行為等を行う際、道路中心から2.1mの後退用地の協力を得て、その後退用地の道路整備を行う事業。 実施方法: 事前相談→協議書受付→審査→寄付申請書受付→現地確認→登記→報償金・物件補償→後退整備工事 また、緊急対策として市民からの情報等をもとに危険箇所において待避所などの整備を行う。							
④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額		181,012	180,680	151,000			
	決算(見込み含む)		147,148	173,617				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)			
	正規職員人件費	3.30 人	28,779	3.10 人	26,846			
	事業費合計		175,927	200,463				
	財源内訳	一般財源	175,927	200,463	151,000			
	国・県支出金	0	0	0				
	その他()							
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	後退用地の確保	後退用地寄付面積	㎡	1,702	2,157	1,824	
		後退用地の確保	後退用地寄付件数	件	128	187	147	
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	生活道路後退用地取得率	目標値: 過去3年の後退用地寄付延長の平均の1割増(m) 実績: 当年度後退用地寄付延長(m) 達成率: 実績÷目標値	目標値	3,696	4,000	3,328	
				実績	1,703	4,061	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	46	102	↑どちらかをチェックしてください	
⑦改善点	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	特になし			-				
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	引き続き、現行の実施方法で、道路後退及びすみ切の部分の整備を行う。		
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	交通の利便性の向上、緊急車両の通行や災害時の避難路等、安全で快適な街づくりを目指し、事業を進めて行く。			
⑨環境影響	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況			(2) 今後の方向性				
	生活道路については、今年も引き続き申請に基づき、後退用地の寄附、整備を進めている。	生活道路整備事業については、今年度も引き続き整備を進めており、狭あい道路の改善により、防災や日照の確保など身近な生活環境の向上を図ることから、今後も継続して推進すべき事業である。						
評価日	H28.8.1	評価者職氏名	道路建設課長 加藤 孝雄					
⑨環境影響	有益な環境影響	4-1大気汚染の防止	5-2安心な都市空間の整備	有害な環境影響を及ぼす原因活動	生活道路拡幅工事の実施	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	